

順天堂大学 (昭和47年度) 卒業 in 高知



まずもって熊本をはじめとする九州地区にお住まいの順天堂大学OB、OG、関係者の皆様、この度の震災によりまして被害を受けられました皆様、さらに今もなお、余震に心身ともにお疲れのこととご推察もうしあげます。心からお見舞い申し上げます。大震災という思いがけない事態に直面され、深い悲しみのなかにおられると思いますが一日も早く皆様が心身ともに健やかな日々をお過ごしになられますよう心から念じております。

「再・々・々・燃。 最高の仲間達」

同窓生全体に呼びかけ同窓会を開催はじめてからこの度で四回目になりました。甲藤彰男くん・澤本章一くんの名コンビのお世話のもと平成28年9月17日(土)に高知県で開催いたしました。同窓生44名の参加でしたね。奥様同伴四組。合計48名。その他に啓友会中澤眞逸前会長にも参加いただきました。さらにさらに啓友会高知県支部から6人の方々の支援もいただいていたの大きな同窓会になりました。改めて47年度卒業生の結束力の強さを感じさせていただきましたね。

同窓会の会場がまた素晴らしい。場所は「三翠園」。高知県では最高のお宿。

三翠園の建つ鷹匠町一帯は幕藩時代から藩主ゆかりの地で山内家に支える武士達が住まいした町であったそうです。その中心、土佐藩15代藩主山内容堂公の下屋敷後に建っているのがこの度の同窓会の会場「三翠園」なんですよ。ここの社長さんが甲藤彰男くんの同級生とか、特別のお計らいがあったようです。同窓会の開始式のさいにご挨拶もいただく特別の方のようでしたね。

同窓会も最高に盛り上がりましたね。参加者の皆さんが多くて各地区毎4~5人が中央に出て一人1分間の時間をいただいて近況報告をするわけですが、それが守られるわけがないんですよ。し

しゃべりたくてしゃべりたくてうずうずしている方々ばかり。完全に時間オーバーする始末でしたね。でもね、そこで感心したのはルール違反した、しないにもかかわらずそれぞれの一言一言に温かい拍手が送られる寛容さ。これが47年卒業の結束する大きな力になっているのかもわかりませんね。

たまたま「順天堂大学に在籍し、卒業した」我々は当たり前のように思っているのかもしれない。しかしよくよく考えれば偶然の中の偶然でしかないのに……。

この「私」という存在の確率は、東京都庁の屋上から糸を垂らし、地上にある五十円玉の穴に、その糸を通す確率だと言われる。それぞれの「私が」同じ順天堂大学に入学し、この大学の一番特色としている「啓心寮」という場所からスタートして卒業し、いろいろな立場を経て、年を重ね重ね45数年たっても、そこは同じ釜の飯を食べてきた仲間。お互いの元気さを確かめ、お互いの「心の支え合う仲間」として再会を喜び、お互いの生きてきた道すがらを確認し、出会い、語り合う同窓会はやはり意義のあるものだと感じました。

次に開催されるのは二年後。お互い健康に留意して再会を誓い合いましたが……………。

さてさて、次回開催地はどうなった？ …… 栃木県開催。

今回は一昨年の時点では島根の予定でありましたが、前回（三回・宮崎）私めが遅刻したために高知の強力な立候補があり今回（四回）が決まったとい経緯がありましたが、日本列島を静岡を中央と考え二分し、東西に分けたとき宮崎県・高知県と二回続けての西部地区開催でしたので、一度東部地区へ振って開催をしたほうが、参加する皆さんにとって出やすくなるのではないかとということで、次回（五回）開催地として今回参加された中で、東部地区の栃木県柏瀬悦宣くん、栃木県出身の柴田史香くんにお話をして、引き受けていただくことになりました。ちなみに六回目開催は西部地区島根県開催となりました。

以下同窓会スナップ

地元高知県澤本くんの名司会



会長木内くんの挨拶



拾雄くん被災見舞支援のお礼





濱野くん乾杯の音頭



三翠園社長挨拶



千葉市地区



九州地区



関東地区 I



東北地区



← 関西地区



東海地区



千葉県地区

※ごめんなさい中・四国地区。私が写真を写してしまして、写真がありません。



山陰地区



地元高知県甲藤くんお礼の言葉